

南の風

—第8号—



児童・生徒のみなさんにとって今年はどんな1年だったでしょうか。治療やリハビリに励みながら学習にも取り組む。とても頑張った1年だったのではないかと思います。ぜひ自分自身を褒めて褒めてあげて欲しいと思います。本当に疲れ様でした。

今月の南の風は「重心部門修学旅行代替行事」についてです。

また裏面には「今年の一字」「クイズ南の風」「冬季休業中のお知らせ」もありますのでぜひご覧ください。

重心部門～修学旅行代替行事～

合言葉は…「えい エイ オー！」

重心部門では、11月14日・21日の2回にわたり修学旅行代替行事を行いました。今年は「海・水族館」をテーマに様々な体験的な活動を行いました。対象は小6、中3、高3の児童生徒のみなさんです。

みんなそれぞれ素敵な衣装に着替えて、チケットを手にいざ出発！

入口にはまず巨大なエイがお出迎え！記念写真を撮りました。貝がらにも触れました。水の冷たさにびっくりする一幕もありましたが、貝がらの触り心地に興味津々でした。

次は「地引網体験」です。綱を持ち、先生や友達と一緒に引っ張りました。するどなんということでしょう！綱に大量の魚がかかっているではありませんか！とれた魚のうち、お土産に持って帰りたいものを自分たちで選びました。

また、クルーズ船のコーナーでは、クルージングの映像をみながらハンドルを持って運転の体験もしました。途中波しぶきを受けたりイルカが来てくれたりして、大盛り上がりでした。

旅の最後は、スクリーンに映る水族館や花火の映像をゆっくりと見ながら帰ってきました。キラキラした映像を、うっとりした表情で見つめる子、笑顔で見つめる子など一人ひとりが自分の気持ちのペースで楽しく過ごしました。

普段の授業の中では、あまり味わえない体験がたくさんできた修学旅行代替行事となりました。この行事をするにあたり、授業の中で小道具の魚や巨大エイ作りにも取り組みました。自分たちも事前準備をして取り組んだ行事は、大成功で幕を閉じました。

1年を振り返り、「今年の1字」について考えてみましょう！

先日、今年の世相を表す漢字が発表され、2025年は「熊」とのことでした。一時は毎日のように熊に関するニュースが報道されていたのも記憶に新しいです。さて、世間は「熊」でしたが、南の風を読んでいるみなさんの今年の1字はどうでしょうか？

本校の校長先生に、今年の1字について聞いたところ「知」とのことでした。選んだ理由について「今年度から着任し、『横浜南支援学校のこと』『子どもたちのこと』『こども医療センターのこと』、さらに今年から校長職に就いたということです『校長職のこと』『全国病弱教育校長会の取り組みのこと』など、多くのことを知る1年だったから！」ということでした。



ちなみに広報担当の私の1字は「伝」です。南の風などの広報業務を通じて本校の良さを伝えることに取り組んできました。伝えることはできたでしょうか・・・？今年度も残り3号。最後までお付き合いください。

①・～クイズ南乃風～・

こども医療センターの一部エリアを借りて運営している横浜南支援学校。教室への登校授業やベッドサイドでの面会授業など多様な授業形式に対応するために多くの職員が勤務しています。

Q. 医療センター内の様々な場所で授業をする横浜南支援学校には職員室はいくつあるでしょうか？



A. 1つ B. 2つ C. 3つ D. 4つ E. 5つ

・～正解は1月号にて！！～・

★11月号の答えは[B. 5匹]でした。

亀池は正面玄関の左側、駐車場の角にあります。少し見つけづらい位置にありますが、ぜひかわいいカメたちがのんびり日光浴をしている姿に癒されてみてください。



横浜南支援学校ホームページでは南の風のカラー版・過去号などを見ることができます！

URL (<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>)

スマートフォンやタブレット端末の方は二次元コードからもアクセス可能です→

